

コミュニティ形成を促進する コーディネーター能力

2024年度 群馬県生涯学習センター 社会教育実践研修 7月10日

「共生社会実現に向けた地域コミュニティの基盤づくり」1回目

尚綱（しょうけい）学院大学教授 松田道雄（だがしや楽校発案）

* 大学HPの教員紹介欄にメールアドレス記載しています。

新たな試みをします！

これは皆さんとの共有物です。骨子案のみ提案
します。皆さんそれぞれ写真や資料など肉づけ
されて、共生社会体験ワークショップなどする
際、皆さんご自身の発表として、ご自由に改善
お使いください。 共生社会は共有社会！

共生社会は、頭の理屈ではなく、

多様な人との出会いでの、とっさの
行動や会話など一人一人が体感覚で
身につけることによって、実現して
いくのではないのでしょうか！？

この時間、ここに集まった私たちも、

ひとときの地域コミュニティとして、
共生社会を体感する体験を行い、
その体験の中で、お互いに、
どんなコーディネートが心がけたか、
ふりかえる参加体験型学習をしましょう！

本時の構成案です！

時刻案	時間	学習内容
13:40~14:00	20分	本時の内容把握とミニ講義
14:00~14:30	30分	各自の持参物紹介と、皆で会場準備、休憩
14:30~15:00	30分	自分みせ出し交流体験会
15:00~15:30	30分	小グループでの深め合いと地域応用談義
15:30~15:55	25分	学習成果の全体発表とまとめ

そもそも、共生とは？

多様な植物と動物が共に生きている自然の世界のように、人間社会もまた多様な人たちが共に生きている姿を、私たちは思い描いていますね。

つまり、カギは多様性（Diversity）！

多様性とは、

それぞれ違っていることを排除せずに、
認め合い、関わり合って、共に存在し、
生きようとする事。

人間社会も、多様性に満ち溢れている！

世代の違い、男女の違い、LGBT、
障害の違い、職業の違い、性格の違い、
好みの違い、考え方の違い、国の違い、
...

自分と違うことから学ぼうと心がけると、

自分の当たり前は、他人には新鮮。

他人の当たり前は、自分には新鮮。

それをお互いに受け入れれば、

お互いの世界はどんどん広がるね！

例えば、…

ことばの違う人からは、相手のことばを学べる。

車いすの人からは、車いすの生活に必要なこと
や、車いすの人が求めていることを学べる。

幼児の目線に立てば、幼児の见ている世界や、
子育てする親の気持ち学べるね。

それを手軽に体験する方法は？

お互いの趣味や関心事などを持参して、それらを「見せ」合い、語り合い、お互いのことに関心を持ち合い、お互いの世界をともに広げていく場をつくること。

名づけて、（皆さんご自由に）

自分の趣味や関心事を見せ合って（自分
みせ）、お互いにことばをかけ合って
「多様な世界」を体感し合う、
「みせ出し交流会」！

一人一人異なる多様性どうしの基本は？

平等！

あなたは日頃、人との会話で、

どれくらい平等を意識していますか？

あらためて「平等な会話」を意識しましょう！

略して、

等話（とうわ）！

等話の心がけ 5か条

- 1 今、目の前の人との出会いに感謝する。
- 2 お互いの話す時間が平等になるよう、心がける。
- 3 自己完結せず、短く話して、問いかける。
- 4 相手の話に耳を傾け、返答し、短く話して、また問いかける。
- 5 この場で生まれる話を、ともに作ろうと心がける。

この体験でコーディネート力を考えます

あなたは、具体的に、誰かに、何か、
コーディネートをするような
声かけをしましたか？

コーディネーターはどんな会話に表れる？

「何をしたいのですか？」

「～してみるのはいかがでしょうか？」

「～さんを紹介しますか？」

...

どうしてコーディネート力が必要なの？

地域の「お世話焼き」が減ったからかな？

人間関係のつながりづくりや活動の手助けをし、
その人が生きがいや幸せ（Well-being）を感じら
れれば、私も幸せを感じられるからかな？

ハーバード大学80年以上の研究成果では

「健康で幸せな生活を送るには、
よい人間関係が必要だ。以上。」

『グッド・ライフ』ロバート・ウォールディングー、マーク・シュルツ著、
兎島修訳、辰巳出版、2023年、18頁

コーディネーターの合言葉を1つ紹介

化学変化の触媒になる！

長野県シニア大学コーディネーターの合言葉

皆さんのコーディネート力を高める合言葉は？



皆さんのコーディネート力を結集して、

グッドライフ in

ぐっどぐんま！